

防犯 防犯灯のLED化推進 今年は200基を予定

防犯灯は、夜間に生活道路を照らし、犯罪防止や歩行者の安全確保を目的に設置している照明灯です。

市が管理している防犯灯は、7年6月末現在で1063灯あり、主に、住宅が連なる地域と地域を結ぶ市道沿いなどに設置しています。

この防犯灯について、市は4年度から、県企業局の「企業局クリーンエネルギー導入支援補助金」を活用し、昨年度までに504基をLED灯に更新しました。

本年度も企業局の支援を受け、防犯灯200基のLED化を行い、電気料金の削減と環境負荷の軽減を図ります。

市内には、これら市が管理する防犯灯以外に、町内会や自治会なども、防犯対策や住民の利便性向上を目的



市が管理する防犯灯は、柱に番号を表示しています

に、区域内の生活道路に防犯灯を設置しています。

市は自治会や関係団体と連携し、引き続き夜間における安全性の確保に努めていきます。

消防 レジャーシーズン到来 火の取り扱いが安全に

夏はバーベキューや花火など、レジャーで火を使う場面が多くなります。

子どもが花火で遊ぶときは、大人が火の危険性を子どもに教え、着火用のライターは子どもの手の届かないところで管理しましょう。

また、冷却スプレーや制汗、消臭スプレーなどのスプレー缶を使用する際は、火気が近くにない風通しの良い場所で使用するなどの注意が必要です。

カセットこんろや着火剤、ガスライターの製品は、使い方を誤ると大きな事故につながります。製品を正しく使い、安全に楽しく過ごしましょう。



柏子木をたたき火災予防を呼び掛けた平館子ども園の園児(6月6日)

防災 避難を知らせる合図 津波フラッグを学ぼう

気象庁は、海辺や海水浴場などで津波の警報や注意報の発表を知らせ、避難を促す手段として、赤と白の格子模様の旗「津波フラッグ」を定めています。

大津波警報や津波警報、津波注意報は、テレビやラジオ、携帯電話(緊急速報メール)、サイレン、鐘など、さまざまな手段で伝達されます。しかし、海水浴場では、携帯電話を身に着けていないことが多く、また遊泳中は波音や風でサイレンなどの音が聞き取りにくくなります。「津波フラッグ」を用いることで、遊泳中の人や聴覚に障がいがある人に津波警報などの発表を、視覚的に知らせようとするものです。

海水浴場などで「津波フラッグ」を見かけたら、速やかに避難を開始してください。



津波から身を守るため、赤と白の津波フラッグを見たら速やかに避難してください

この広告は、広告主の責任において市が掲載しているものです。広告の内容について市が推奨などをするものではありません。

耳鳴り、めまい、頭痛、皮膚の痒み 等

漢方のあさひ薬局

八幡平市大更25-118-1(国道282号沿い) TEL.0195-75-2227

<https://www.asahi-kanpou.com/>

御相談予約専用 携帯からもご利用できるようになりました!

☎0120-204077



漢方のあさひ薬局@八幡平市
ID @083kkehm